

＜学校名＞ 新座市立第三中学校  
＜所在地＞ 新座市池田1-1-1  
＜電話＞ 048-482-0133  
＜本事例の特徴＞

本市はフィンランドのユヴァスキュラ市と友好姉妹都市提携を締結しており、令和4年で25周年となった。特に本校とユヴァスキュラ市のヴィータニエミ中学校は姉妹校提携を結び、以前はお互いの学校を訪れ交流していた経験もある。コロナ禍となり、お互いの国、学校を訪れることはさらに難しくなってしまったが、25周年という節目にオンラインという形で交流を行うことで姉妹校としてのつながりを深めるとともに、生徒を他国の文化に触れさせ、豊かな国際感覚を養う。

### ＜具体的な取組や成果＞

- 国際交流の趣旨を全校生徒に説明し、オンラインでの国際交流会に参加したい生徒を募集したところ、約30名の生徒が参加を希望した。日本のことをどのように伝えるか生徒に考えさせたところ、スライドを用いて日本の文化を紹介することに加え、昔遊び（けん玉、あやとり、コマ）の実演、折り鶴の折り方をグループワークで教えるといった案が出たので準備を開始した。
- 交流会に参加する生徒は、当日に向けて、スライドの作成や、折り鶴の折り方の英訳等の準備を進めていった。参加生徒に限らず、全ての生徒にフィンランドへの興味を持ってほしいとの思いから、昇降口にフィンランドへのメッセージボードを設置することや、交流会直前の給食ではフィンランド料理を献立に入れるなど、学校全体が国際交流に向けて意識を高めていく工夫が見られた。

### ○国際交流当日

日本時間15:30（フィンランド時間8:30）交流会がスタートした。参加者は30名であるが、体育館で交流会を行ったため、参加者以外の多くの生徒が交流会の様子を見学しに来ていた。

ヴィータニエミ中学校からは学校の紹介と音楽演奏が発表され、本校からは準備をしていた日本の紹介スライドと折り鶴の折り方を伝えた。

折り紙をしたことがない海外の人に、オンラインで英語を用いて折り鶴の折り方を教えるのは容易なことではなかったが、生徒達は準備していた英語に加え、画面越しにお手本を見せ一生懸命伝えていた。自分の伝えたいことを英語で伝える経験は、生徒の英語力向上に加え、豊かな国際感覚を養うことにつながった。

詳細については、新座市立第三中学校ホームページ内学校ブログを参照のこと。

（右のQRコード）

